

第9回蒲田駅周辺地区グランドデザイン専門部会 議事要旨

日時：令和3（2021）年12月1日（水）17：00～18：30
場所：大田区役所本庁舎5階 特別会議室
委員：中井 検裕 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
大沢 昌玄 日本大学 理工学部土木工学科 教授
野原 卓 横浜国立大学大学院 准教授
齋藤 浩一 企画経営部長 / 鉄道・都市づくり部参事（特命担当）
高橋 竜太郎 大田区鉄道・都市づくり部長
西山 正人 大田区まちづくり推進部長

1 開会

2 部会の成立

部会長より専門部会の開催要件と出席委員数が確認され、専門部会の成立が宣言された。

3 議事

議題：素案（たたき台）について

事務局より資料3を基に説明

（委員）

27頁のコラム「横断的取組による相乗効果の創出」に書いてある13の分野は、後の頁に出てくるので、分野別方針の後で示す方が良い。また、コラムで良いのか、本文に格上げするのも含め検討する必要がある。

（事務局）

掲載位置、表現方法について再度検討する。

（委員）

7-2「まちづくりの取組に関する実施場所・実施手順・実施主体」は、第9章「グランドデザインの実現に向けて」で整理することも考えられる。9章で実現にあたりどのように実行していくかを、まとめて説明しても良い。

57頁の7-1「まちづくりの取組（アクション）」を見れば全体像が分かるが、第5章「まちづくりの目標」の位置付けが整理されていないので内容が薄くなっている。

36頁「都市骨格軸」のイメージ図に、アーケードが描かれている。骨格軸の全てにアーケードを設置すると誤認されてしまう。

33頁の右下の解説は、第7章「まちづくりの取組（アクション）」と関連しているのか。

（事務局）

関連している。

（委員）

コラムの位置付けに違和感がある。第7章「まちづくりの取組（アクション）」ではコラムとして手法を紹介しているが、89頁はコラムで紹介していない。

（事務局）

コラムの扱いについて整理する。

（委員）

第7章「まちづくりの取組（アクション）」の手法の例はコラムにしない方が良い。

（委員）

参考資料「区民参画の実施概要」には、最終的にパブリックコメントの実施結果も記載するのか。

（事務局）

記載する予定である。

（委員）

現行の蒲田駅周辺地区グランドデザインにおいて何が達成できて、何が課題として残っているのかを表現した方が良い。

（委員）

7頁のコラムにある達成状況を、1-5「グランドデザイン改定の目的と背景」の本文の中で整

理してはどうか。

(委員)

残っている課題については、17頁で整理されている。

(事務局)

ご意見のとおり整理する。

(委員)

構成について再度議論したい。5-1「まちづくりの目標」と第6章「まちづくりの分野別方針」と7-1「まちづくりの取組（アクション）」は順番にしておいた方が分かりやすい。その次に、5-2「拠点・軸・エリア別の重点目標」を置く構成を提案する。

(委員)

5-2「拠点・軸・エリア別の重点目標」を4-2「まちづくりの方向性」の後ろにしてはどうか。

(委員)

57頁と29頁を並べたときに57頁が先になるのか。

(委員)

一般的な計画では57頁が先か。29頁の「拠点・軸・エリア別の重点目標」は方針に近い。

5-1「まちづくりの目標」を踏まえ、分野別とエリア別の2系統の方針があるような構造にしては。

(委員)

一番シンプルな構造である。

(委員)

どのようなメッセージを伝えたいかによって構成は変わる。29頁の「拠点・軸・エリア別の重点目標」を最大のメッセージとするならば、事務局が提案する構成もある。

(事務局)

強く打ち出したい内容として29頁を作った経緯があるので、前段に構成したい。

(委員)

読み手に理解してもらえるようにした方が良い。

(委員)

4-1「地区の都市構造」を前段に構成し、4-2「まちづくりの方向性」と5-2「拠点・軸・エリア別の重点目標」を第7章「まちづくりの取組（アクション）」にしてはどうか。

(委員)

5-2「拠点・軸・エリア別の重点目標」を前段に持って来て強いメッセージ性を出したいならば、「拠点・軸・エリア別のまちづくり」とストレートなタイトルにした方が良い。その後に、5-1「まちづくりの目標」、第6章「まちづくりの分野別方針」、第7章「まちづくりの取組（アクション）」だと思う。メッセージ性を込めるという事で良いのではないか。

(委員)

それでは、第4章のタイトルを「拠点・軸・エリアのまちづくり」として、4-1「地区の都市構造」、4-2「まちづくりの方向性」、5-2「拠点・軸・エリア別の重点目標」の順とする。その後に、5-1「まちづくりの目標」、第6章「まちづくりの分野別方針」、第7章「まちづくりの取組（アクション）」という順番とする。

(委員)

62頁の分野別方針5だけ読むと、JR・東急蒲田駅での取組とってしまう。京急蒲田についても、関係のある所については記載すること。

議題：パブリックコメントの実施概要について

事務局より資料4を基に説明

(委員)

パブリックコメントまで1か月程度時間があるので、本日の意見を反映して臨んでほしい。

(事務局)

承知した。

以上